

< 目次 >

- 1 【学社連携】地域をあげての復興教育を！〔まとめ〕
 - 2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 3 【編集後記】あつしのひとりごと
-

★教育振興運動イメージソング「Hand In Hand」を聴くことができます。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/HANDINHAND.html>

★「Hand In Hand」弾き語りコード譜をダウンロードすることができます。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/handinhandkoudo.pdf>

1 【学社連携】地域をあげての復興教育を！〔まとめ〕

メールマガジン第87・88号の2回にわたり、「いわての復興教育」の取組を紹介してきました。大震災後に始まったこの取組の情報は、“学校から発信されている”ことから“学校の取組であって地域の取組ではない”・・・と思われるがちです。

しかし、人の絆の大切さ・地域づくり・社会参画を進める取組は、地域との関わりが必要であり、学校だけでできるものではありません。学校と地域が力を合わせて取り組むものですから、それは“学校の取組でもあり、また地域の取組でもある”と言ってよく、それをひとことで言うと「教育振興運動」の取組と言うのだと思います。

そもそも、学校には学校の役割があり、地域には地域の役割があります。この子ども・家庭・学校・地域・行政の5者のそれぞれが役割を明確にして、連携を図りながら責任を持って取り組むものが「教育振興運動」ですので、学校と地域がきちんとねらいを話し合っ、学校が企画した取組に対し、地域の方が指導者や協力者として子どもたちに関わることは「教育振興運動」なのです。

もちろん、そのねらいに迫るために地域が企画した内容に、学校が協力し、子どもたちを送り出し、共に活動することも「教育振興運動」です。学校や地域またはPTAなど、誰が企画した内容であっても、共通のねらい（解決すべき課題）に迫る取組は「教育振興運動」の取組のひとつなのです。

一関地域教育振興運動推進協議会実践区の滝沢小学校PTAでは、一関市の磐井川流域が水害常襲地域であることを良く知っている小学校5年生13%、平成20年度の内陸地震のことを良く知っている小学校5年生25%という実態を踏まえ、“一関の自然災害の歴史を学び、防災の知識・意識を高める取組”をおこなっています。

軽米町教育振興運動推進委員会では、子ども会のリーダー育成を図るとともに、防災教育における地域の人材育成を目的として、「子ども会リーダー研修会」

に地域防災の活動を取り入れ、「安全・安心マップ」や「廃油を使ったロウソクづくり」をおこない、地域防災を町全体で組織的に取り組んでいます。

★平成24年度教育振興運動実践事例集 ～一関市・軽米町の実践など～

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousinjirei.html>

学校と地域とが別々に取り組むのではなく、連携して取り組むことで双方の負担感を減らしていきましょう。第88号で紹介した大槌町が取り組む「ふるさと科」は、学校の教育活動を地域の力で支援する社会教育事業「学校支援地域本部事業」を活用し、地域のコーディネーターが学校と地域ボランティアをつなげて展開していくこととしています。

また、県教育委員会では、“地域あげての復興教育”を推進するために、学校教育（復興教育）担当と社会教育担当が、3月26日（火）には岩手県PTA連合会を、3月27日（水）には岩手県高等学校PTA連合会を訪問し、「いわての復興教育」の趣旨を学校・家庭・地域に広め、オール岩手で取り組む体制をつくっていくことを協議することとしています。

★「いわての復興教育」プログラム（改訂版）

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24iwatefukou.pdf>

2【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

（教ちゃん）ねえ、振ちゃん。「PTAいわて」って知ってる？

（振ちゃん）えっ……。

（教ちゃん）学校でもらったでしょ。ちゃんと、お家の人に渡すようにって先生が教室で配ったじゃない。この前は144号だったわよ。

（振ちゃん）そ、そうだったよね。そ、それが……どうかしたの？

（教ちゃん）表紙の写真が良かったなって思って。

（振ちゃん）うん。そ、そうだね。よ、よかったね。

（教ちゃん）みんな、いい表情していたわ。

（振ちゃん）そうだったっけ？

（教ちゃん）えー。大きな写真だもの。ちゃんと見たの？

（振ちゃん）う、うん……。

（教ちゃん）あっ、振ちゃん。また、カバンの中にプリントが入れっぱなしになっているんじゃないの？

（振ちゃん）げっ！ば、ばれたっ。

（教ちゃん）振ちゃん、ダメじゃないの。今回の「PTAいわて」の表紙は、普代小学校の読み聞かせの様子の写真だったの。県内の小中学生すべての家庭に読み聞かせの楽しそうな様子が紹介されたのよ。

（振ちゃん）今日、ちゃんと渡します。

（教ちゃん）広報誌を通じて、読書の魅力が家庭に広まっていくといいわね。

（振ちゃん）ごめんなさい。ちゃんと渡しますから許してください。

（教ちゃん）そうよ。わかった？

（振ちゃん）……そうだよ。みんなもわかった？

★「PTAいわて」144号の表紙

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24PTAiwatel44.pdf>

3【編集後記】あつしのひとりごと

3月23日（土）。山田町の放課後子ども教室で安全管理員をしている知人から声をかけていただき、午前中は保育園で、午後は放課後子ども教室で絵本の読み聞かせをおこなってきました。

子どもたちに喜んでもらったのはもちろんですが、それはそのために訪問したのですから当然のこと。その他に、子どもたちに関わる大人の方々の気持ちが少しでも和らげば・・・と思っています。

今回も安全管理員さんや保育園の園長先生が、大震災後のご苦勞をいろいろとお話してくださいました。私にはお話を聞くことしかできませんが、話をすることで気持ちが楽になることもあると思います。何の力にもなれませんが、これからも足を運び、耳を傾けていきたいと思っています。

< お詫び >

岩手県音楽教育研究会が出版する中学生用合唱楽譜集「イーハトーブの風」が「Hand In Hand」と改称され、教育振興運動イメージソング「Hand In Hand」の混声三部合唱の楽譜が掲載されることとなっておりますが、以前にお知らせしておりました新年度4月からの準備には間に合わないこととなりました。

お詫びして訂正いたします。また、準備が整いましたら、改めてご案内をさせていただきます。

< 御礼 >

平成21年7月配信の第1号から3年9か月。教育振興運動メールマガジンの担当をさせていただき、家庭学習や読書推進のあり方、各実践区の取組の様子など、様々なことを勉強させていただきました。4月より担当が変わることになります。今まで、お世話になりました。ありがとうございました。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

感想・意見・要望はこちら（4月より）⇒ y-fujiwara@pref.iwate.jp
⇒ 第90号は、4月9日（火）配信です。

★バックナンバー（第1～88号）はこちら。

⇒ http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/merumaga_backnumber.html

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/zenkenjirei.html>

★平成24年度教育振興運動の市町村における実践事例はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousinjirei.html>

～～～配信元～～～

*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

*発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。ロコミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気あなたから作りだしてください。

～～～